

「人間と宇宙観」講義 2006 年度（平成 18 年度）

前半レポート等

2006. 12.15 岡本良治

[1]レポート課題と 10 月、11 月中の講義の感想文

1. 「宇宙」という概念について。
 - 1.1) 「宇宙」という概念について、本講義を受講する前の貴君のイメージ、意見がどうであったかを述べよ。
 - 1.2) 「宇宙」という概念が世界の地域、時代とともにどのような変遷したかを説明せよ。
 - 1.3) 「宇宙」という用語を用いた書籍または展覧会などを探し、その使用の意図（趣旨）を分析せよ。（探すことができない場合、「携帯電話という小宇宙」という題名で、意味のある、またはストーリーのある文章を作れ。）
2. 古代ギリシャのプラトンの宇宙観と原子論的宇宙観の特徴を論評せよ。
〔教科書の 2，3 章と講義プリントを参考に。〕
3. プトレマイオスの地球中心モデルの特徴、歴史的に果たした役割について論評せよ。
さらに、プトレマイオスの主要な業績とその影響についても言及せよ。
〔教科書の 6 章と講義プリントを参考に。〕
4. ニュートンの主著「プリンキピア（自然哲学の数学的原理）」の中で展開された、宇宙観の主要な特徴を解説し、近代の思想（または一般市民の常識）に与えた影響について論評せよ。〔教科書の 12，13 章と講義プリントを参考に。〕

以上、1，2，3，4 の各項目のそれぞれについて、A4 版レポート用紙を用いて 1－4 枚の範囲内で記すこと。

（長さに幅を持たせる理由は、学習・調査の努力の度合いを見るため。）

さらに、10 月、11 月中の講義の感想文を、毎日の日付と主要テーマ名を記し、A4 版レポート用紙に記すこと。

（長さを指定しない理由は、受講態度とレポート内容のとの相関を見るため。）

[II]留意事項

1. レポート表紙に**必ず**明記すべき内容

「人間と宇宙観」講義前半レポート

提出年月日（2007年？月？日）

学年・学部・学科名

学生番号・氏名

2. 重要な用語、文章には下線を引くなど、めりはりをつけること。

参考にした資料、文献は最後に

著者名、資料（文献名）、（文献の出版社名）、（文献の発行年）

ホームページの場合、そのアドレスをまとめて記すこと。

3. 執筆は手書き、コンピュータ使用のいずれも可とする。

（ただし、同一内容を複写したと判断される場合には、受理しないか再提出させることがある。）

文献またはホームページから引用した文章などは「」（括弧）で必ず囲むこと。

4. レポートの最後に、感想文をつけて、必ず左上をホチキスなどで閉じること。

5. 提出期間： 2007年1月9日－12日

提出場所：北九州市立大学・非常勤講師控え室（1階）

（1月12日（金）の場合、C402講義室）

問い合わせ先：岡本良治 okamoto_at_mns.kyutech.ac.jp

（_at_を@に入れ替えて下さい。迷惑メール防止のため。）

Homepage のアドレス

<http://www.mns.kyutech.ac.jp/~okamoto/education/education.html>